

開発事業地球温暖化対策結果

事業者の氏名 又は名称	株式会社長谷工コーポレーション 代表取締役社長 辻 範明			
主たる事務所又は 事業所の所在地	東京都港区芝二丁目 32 番 1 号			
開発事業の名称	(仮称) 大師河原マンション計画			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市川崎区大師河原二丁目 2 番			
開発事業の目的	共同住宅の新設			
工事の着手 予定年月日	2014 年 6 月 30 日			
工事の完了 予定年月日	2016 年 6 月 23 日			
開発事業の概要	区域面積	19697.62 m ²		
	床面積	47947.00 m ²		
主な建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	1	共同住宅	47947.00 m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
	床面積の合計		47947.00 m ²	

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	・共用部分の照明、冷暖房、給湯等の設備機器は、可能な限りエネルギー消費量の少ない機種を導入した。 ・省エネルギー等級3相当の断熱材採用により、省エネルギーや冷暖房効率の向上に配慮するよう努めた。(写真 No5.6.7.8)
	ヒートアイランド現象の緩和	・敷地内を極力緑化するとともに、高木、中木等の緑により木陰を創出し、舗装面の照り返しの軽減に努めた。 ・敷地内の歩行者路等については、石、レンガ等の自然的被覆に近い材料を使用した。材料選定に関しては、浸透性舗装材の検討を行いヒートアイランド現象緩和に寄与するよう努めた。(写真 No9)
	交通環境への配慮	・駐車場の出口と入口を分け、混雑が生じないように配慮した。また、エントランス車寄せを分散配置し、出入庫時に車列を生じさせないように配慮した。 ・駐車場等に看板を提示し、自動車やバイクの利用者に対し、エコドライブ（アイドリングストップ等の）励行等を促した。
	緑地の保全と緑化の推進	・植栽予定樹種については、可能な限り計画地の環境特性に適した樹種を選定し、計画地内においても日影地には耐陰性のある樹種を植栽した。 ・植栽樹種は、花や紅葉等が見られる樹種を含め、季節感を楽しめる樹種とした。 ・植栽基盤の整備にあたっては、必要な土壌量を上回る量の良質な土壌を使用した。 ・緑の質の確保のため、施肥、除草・草刈等の適正な維持管理を行った。 ・高木、中木、低木、地被類を適切に組み合わせ、配植、密度を考慮した植栽を行い、多様な緑の創出、育成に努めた。 ・計画地外周部の緑化及び機械式駐車場の周囲に生垣緑化を行った。

	工 事 に 係 る 配 慮	・特定の時間帯に工事用車両が集中しないよう、工程等の管理や配車の計画を行った。(写真 No2) ・建設機械による負荷を極力少なくするために、施行方法や手順等を十分に検討し、建設機械の集中稼働を避け、効率的な稼働に努めた。(写真 No2) ・建設機械及び工事車両は、低燃費型を積極的に利用し、燃料消費量を削減した。 ・建設機械の使用にあたっては、整備、点検を徹底した。(写真 No3) ・建設機械及び工事用車両は、アイドリングストップ等のエコドライブ・省エネ機械操作を徹底するため、運転者への指導を実施した。(写真 No1) ・建設時に発生する廃棄物のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に定める特定建設資材廃棄物について再資源化を行い、その他の廃棄物についても廃棄物の種類毎に分別・保管し、可能な限り再資源化を行った。 ・建設資材等の搬入に際して、過剰な梱包を控えるなどして、廃棄物の発生量を低減するよう努めた。
	そ の 他	・建設設計に際しては、ステンレス配管等の採用により設備の長寿命化を図り、リサイクルしやすい建材の採用に努める事により環境に配慮した計画とした。(写真 No19.20)
再生可能エネルギー源の利用	導 入 機 器	ソーラーパネル 5KWを屋上に設置し共用部の電源とした。 (写真 No16)

(第3面)

特定建築物の評価	棟番号	評価の目標	評価の結果
	1.	B+以上	A
備 考			

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所／学校／物販店／飲食店／集会所／工場／病院／ホテル／住宅／その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例(平成11年 川崎市条例第50号)第127条の4第1項の特定建築物に該当する場合、同項第5号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。



No.1

・日々の朝礼での
アイドリングストップ
工事車両等の注意事項の
呼びかけの実施状況



No.2

・各業種乗込み前の
事前打ち合わせの
実施状況



No.3

・建設機械の整備、
点検の実施状況



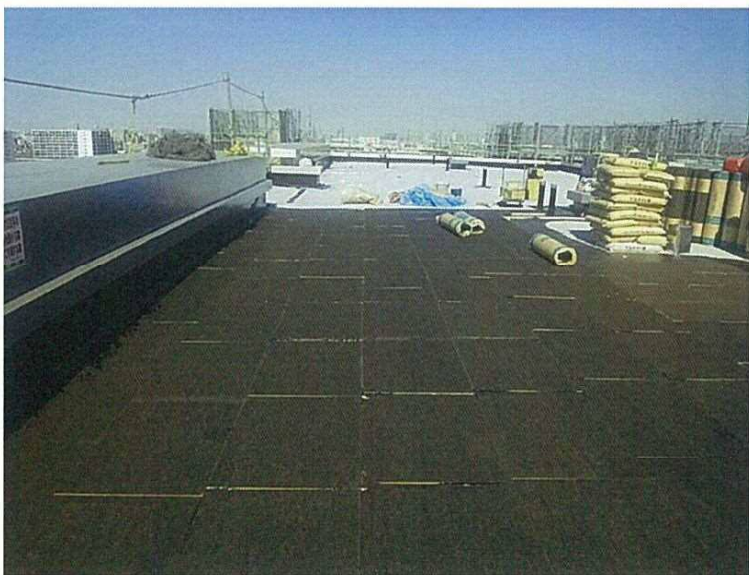
No.4

・建設機械の整備、
点検の実施状況



No.5

・断熱材の使用状況
(躯体スラブへの打込)



No.6

・断熱材の使用状況
(屋上スラブへの敷込)



No.7

・断熱材の使用状況
(屋上スラブへの敷込)



No.8

・断熱材の使用状況
(ウレタンフォームの吹付)



No.9

・人工被膜、緑化の推進
保水性のあるインターロッキング
の設置により、地表面の
温度上昇の制御の実施



No.10

・防災倉庫の設置、
備蓄状況
マンホールトイレ本体



No.11

・防災倉庫の設置、
備蓄状況
マンホールトイレ用テント



No.12

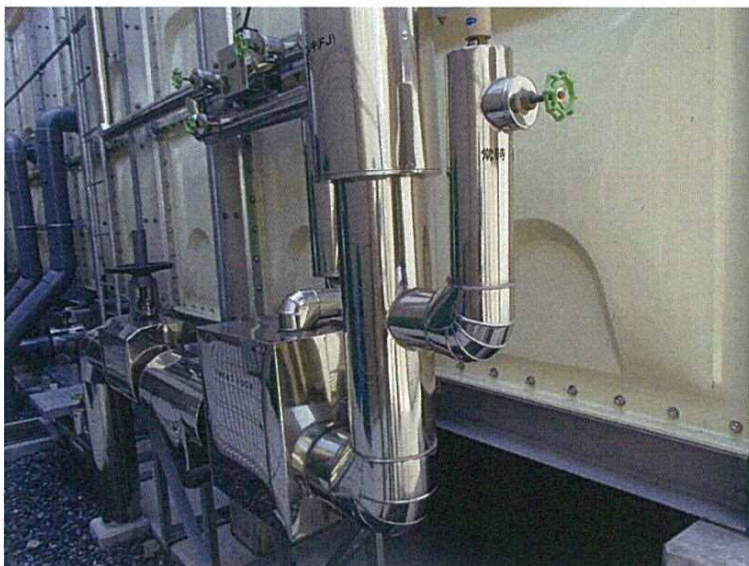
・防災倉庫の設置、
備蓄状況
マンホールトイレ





No.18

・現場打ちのPCの
採用状況



No.19

・高耐久ステンレス共用
給水配管システムを採用



No.20

・高耐久ステンレス共用
給水配管システムを採用